

2015 年
入試用

学校説明会レポート



都立戸山高等学校

日時 2014 年 6 月 11 日 (水) 11 時 10 分～12 時 35 分
所在地 新宿区
会場 会議室
対象 塾
配付資料 次第、進路計画、入試データ、英数国の入試問題、説明会の案内、アンケート など

説明会の概要

●資料確認 (11:10～11:13)

あいさつと学校紹介

大野校長 11:13～11:30

- 幸い合否に関係はありませんでしたが、本校でも入試ミスがあった事を報告します。ご迷惑をお掛けしました。今後はミスなしを徹底するつもりです。
- 本校の歴史は、1888 年補充中学として開校し、1901 年に府中四中に、1949 年戸山高校と名称が変わりました。平成 13 年には進学指導重点校に、16 年にはSSHに指定され、17 年には土曜講習を始めました。進学校ですが勉強一点張りではなく 25 年には都から子供の体力向上推進優秀校に選ばれました。26 年にはSSHに再指定されました。
- 戸山のモットーは、国際社会に貢献するトップリーダーの育成です。期待する生徒像は 3 つあり、①高い目標を持ち続ける生徒、②メリハリのある学校生活を送る生徒、③日々の授業を大切にする生徒です。
- 本校の特色は大きく 3 つあります。第 1 は「総合力重視と理数重視」です。もともと難関国公立大学進学を目指す教育課程が組まれており、5 教科 7 科目に対応しています。土曜授業を年間 20 回行い、リベラルアーツ重視の文理分けをしない学級編成で授業を展開しています。伝統となっている理数教育では、SSH で課題発見能力と最先端科学へのチャレンジを続けています。大学や専門機関（防災研・環境研など）と連携して共同研究を行っています。設備面でも化学・物理・生物の実験室や階段教室が揃い、徹底して理数教育ができる環境が整っています。第 2 は「自主学習の推進」です。家庭学習時間

については1・2年で1日3時間以上、3年では5時間以上と指導しています。午後8時まで自習室・図書室を開放し、卒業生のチューターも来ているので思い切り学習できる環境が整っています。第3は自主活動の育成です。学習中心での両立を目指す行事や部活は、生徒が企画運営することも多いです。服装も自由です。

- SSHクラスが各学年に2クラスあり、大学レベルのSSH講座を行っています。理数課題研究では自ら課題を設定し研究しています。SSH全国発表会で研究成果を発表するほか、SSH海外研修では本校主催で横浜サイエンスフロンティア高と連携し、アメリカ西海岸を訪れました。研究課題の一例は、「ゲリラ豪雨を予測する」、「ケミカルガーデン」、「バナナの長期保存方法」「フィボナッチ数」などです。
- 部活も盛んで、兼部者も多く、参加率は100%以上になっています。

大学入試結果報告、進路状況と指導方針

進路主幹 吉岡先生 11:30~11:45

- 平成26年春の現役合格者は約61%で、理系6：文系4となっています。東大6（3）、京大4（2）、東工大6（5）、一橋大7（6）名が合格し、国公立大学へは現役では72名が合格しました。私立大では、早大98（69）、慶大39（25）、上智27（19）、理科大67（41）名でした。クラブで頑張っている生徒は受験でも結果を残してくれたようです。（ ）は現役。

学力検査の結果について

- 国語 横堀先生 11:45~11:58

受験者平均点 55.1点（男子54.5 女子55.7）。①②の漢字は正答率8~9割でよく勉強してきていると感じました。③④⑤は選択できる問題でした。③は小説で、題材や難易度はほぼ前年通りだったため、特に問題はなかったと思います。問1の正答率は98%、問4の正答率は65.8%でした。問3は部分点を挙げているのでまあまあ良くできていました。④の評論文は良問であったと思います。問1はウが正解なのにイが多く、正答率が25.6%でした。ぼんやりと読んでいたのでは正解できません。問題6は250字の記述でしたが時間が足りなかったようでした。広い視野を持つことが大事で、例示する事柄を分かりやすく説明した良い解答も見られました。⑤は得点源だったようで、正答率は5~6割でした。「いなして」の意味ができていませんでした。

- 数学 志村先生 11:58~12:06

受験者平均点 51.5点（男子55.1 女子47.9）。①は問1・2・3とも正答率が9割以上できていました。問4は数える問題でしたが8割と予想以上に正解していました。作図では空間を認識する問題が難しいようでした。②は放物線の問題で特に問3は線が多くわかりにくかったようで、正答率も2~3割でした。問2の正答率は6割で、ここが出来たかどうかで合否が分かれたものと思われます。③は折り紙問題で、いろいろな

過去問にも取り上げられていますが、正当率は4～5割で思ったよりできていませんでした。問2は角度さえ書けばできると思いましたが、正答率は4割でした、問3は90度に気づいた点で証明できたと思います。④は問2の正答率が3割で、合否の差となりました。問3は時間がなかったようでした。問1はルート3のところをルート2とした解答が多く、三平方の定理が後半に移ったことが原因と思われます。全体的にみて、8クラス募集時より9クラス募集の今年の方が平均点が高くなりました。

●英語 片山先生 12:06～12:15

受験生平均点53.2点（男子54.5 女子51.9）。この平均点より10点下回った生徒は10%しか合格しておらず、10点上回った人は90%が合格していました。戸山は数学が出来れば多少英語が苦手でも合格できると言われてきましたが、この数字から判断すると、英語が苦手では合格できないということがわかりました。英語ができる生徒は他の科目も良い成績を上げていると言えます。②の正答率は25%と低く、じっくり考える時間がなかったようです。問7の正答率は高く64.7%で、これは平均点より上回っていました。問2の並べ替えはよく出る問題ですが、スペルを間違えると不正解になってしまいます。③では時間がないのか問4の正答率は14.5%でした。ここが出来ていればかなり有利になっていたでしょう。また問8の作文は難しかったと思います。リスニングについては自分で単語を書く問題がありますが、最高でも答えは5ワードでいいので、フルセンテンスで間違えるより、確実に5ワードを書いた方が有利です。

教育課程入学選抜に関する説明

教務主幹 松井先生 12:12～12:35

- 教養主義の戸山は、講習よりもまず授業です。1・2年生は文理に分かれず、3年生の選択A・Bで緩やかに分けていきます。授業時数は平均的な都立高校の80単位程度に比べ、戸山では90単位の授業が行われています。
- 伝統校としての豊かな学校行事があり、高校時代にしか味わうことが出来ない貴重な経験をたっぷり体験できます。
- SSHでかなり深く入り込んだ内容を学ぶことができます。定期考査は80分で思考力をアップさせることに重点を置いています。

説明会の雰囲気・印象

- 校長先生が自らいろいろと積極的に説明され、熱心さが伝わってきました。話された先生はいずれもはきはきされていて、気持ち良かったです。資料もよく整っていてわかりやすい説明会でした。

学校周辺の環境

- 明治通りに面した立地で、交通至便です。隣接して学習院女子中・高・大が、通りの向かいには早大理工学部があります。周辺はオフィス街ですが、緑も多く、学習環境は良好です。

交通

- メトロ副都心線 西早稲田駅から 徒歩 1 分
- JR山手線 高田馬場駅から 徒歩 12 分
- メトロ東西線 高田馬場駅から 徒歩 12 分
- 西武新宿線 高田馬場駅から 徒歩 12 分